


研修名	第1回 精神障害者地域移行研修
講師等	<p>(1) 情報提供 ○テーマ：「精神障害者の地域移行支援～国の動向と本市の取り組み～」 ○講師：保健福祉局障害者支援課 鍵山俊明 発達障害・精神保健福祉担当係長</p> <p>(2) パネルディスカッション ○テーマ：「精神科病院から送り出す力と地域の迎え入れる力」 ○パネリスト ・平口亮輔氏 堤小倉病院 ・榎本孝史氏 訪問看護ステーション モナトリエ ・小谷香津水氏 相談支援事業所 クラムボン ○コーディネーター：今村浩司氏 西南女学院大学 准教授</p> <p>(3) グループワーク</p>
開催日時	平成29年10月7日(土) 14:00～16:00
開催場所	北九州市総合保健福祉センター 2階講堂
参加者数	<p>74名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神科病院等の精神保健福祉士、看護師、作業療法士 等 ・相談支援事業所の相談支援専門員、サービス管理者 等 ・保健福祉関係の行政職員 等
研修の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科病院の地域移行を図るため、医療機関、相談支援事業所、訪問看護ステーション、行政機関等の従事者を対象に、医療と福祉の連携をテーマとした研修を実施した。 ・パネルディスカッションでは精神科病院、訪問看護ステーション、相談支援事業所それぞれの立場から精神障害者の地域移行の取り組みや課題についての話がなされた。 ・また、医療機関、事業所、行政機関等の機関によるグループワークを実施し、「精神障害者の地域移行」をテーマに現状や課題等について話し合いが行われた。 ・グループワークのメンバーは、精神保健福祉士、作業療法士、看護師、保健師等の多職種で構成され、それぞれの職種の役割等についての意見交換もなされた。 
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・研修で学んだことを日々の業務の中で活かしていきたいと思いました。 ・パネリストの皆様から貴重なお話をいただき、ありがとうございました。 ・グループワークを通して違う職種の方の意見を聞くことができよかったです。 ・病院の課題、相談支援事業所の課題等を知ることができました。 ・精神障害者の地域移行を進めるには他の所属の方との連携が必要と思いました。